



## AI時代を生きる子供たち

校長 五十嵐 俊子

2019年、新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

冬休みに新聞を見ていて気づいたことがあります。AI（人工知能）という言葉が掲載されていない日がないのです。自分が小学生のときに、こういう時代になるとは考えてもいませんでした。スマートフォンどころか携帯電話もありませんでしたし、コンピュータが日常生活の中にあるという発想すらありませんでした。今、時代はものすごいスピードで変化していることを改めて感じます。10年、20年後はどんな時代が待っているのでしょうか？

AI（人工知能）の発達が加速するこれからの時代を生きる子供たちには、個々の創造性を発揮して仲間と問題解決に取り組み、新しい発想から新しい価値を創り出す力、人間ならではのAIに負けない能力である感性や思考力を磨いてほしいと思っています。そのためには、まず何よりも我々大人が、未来を見据えて常に学び続けて成長していく姿を示すことが大切だと考えています。本校では、ICTを積極的に取り入れてその良さを最大限に生かし、対話、プログラミング、個別最適化を目指した学びなど、新たな学びに挑戦しているところです。

また、子供たちが安心できる温かい環境の中で思い切って挑戦できるように、失敗を恐れず前向きに頑張る雰囲気を大切にしたいと思います。失敗こそが次につながる大切な学びになります。子供は大人の表情をよく見ていますから、我々大人は、いつも笑顔で機嫌よくいたたいものです。どんな時でも笑顔で冷静に、失敗の原因を考えて改善しようとする態度は、失敗を恐れずに挑戦を続けようとする意欲を育てることにつながります。ご家庭でも、この雰囲気を大切にしてください。学校も家庭も地域も、子供たちが失敗しても安心して挑戦できるように、温かくおおらかで安定した環境でありたいと思います。

今年も町五小は、笑顔、感謝、感動、挑戦、創造の5つをキーワードに、温かな環境の中で、子供も教員も失敗を恐れずに未来志向で挑戦していきます。学校、家庭、地域のみなさまと一緒に、未来を生きる子供たちに寄り添い、共に力を育んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 「みなさん、温かい心をありがとう。がんばってます！」 (by ミルク)



ミルクちゃん朝会の風景



毎日、見に来てくれる子供達



沐浴後、ドライヤーで毛並みをセットされてうっとり。



本校で飼っている4羽のウサギのうち、一番のおじいさんウサギのミルクちゃんは、体も弱ってもう自分で動くことができません。それでも獣医さんの助言をいただきながら、学校で最後まで看取することを決めました。卒業生の方が来校してくださり、すでに10歳を越え、間もなく11歳になることが分かりました。毎日、子供たちが声をかけてくれます。命をいつくしむ心が育っていることを大変うれしく思います。いつかは消えてしまう命ですが、今を懸命に生きているミルクちゃんが、温かな愛に囲まれて少しでも長く生きられるように、町五小の子供たちと教職員みなで見守っています。青菜やリング等の差し入れや、タオル等のプレゼントが届いています。ありがとうございます。